

令和3年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	11-	4
事業名	新産業創造推進事業	
会計	款	項
一般	6	1
課名	産業課	
係名	新産業創造推進室	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	農業者、事業者、住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	付加価値の高い農産物の導入や現在行われている土地利用型農業で生産される作物の付加価値を高め、収益性の高い農業経営を実現し、農業を魅力ある産業に育てる。
事業内容	「農業を核としたまちづくり」を推進するため、大豆の先進的な加工技術を有する企業並びに町内農業法人2社と町が連携し、東員町産大豆の魅力向上等を目的とした事業を推進しています。この事業では、大豆の生産から加工・流通・販売まで町内で一元的に完結できる6次産業化を目指す。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)	
	1	農産品またはそれを活用した特産品数	15			品	↑		20
2	大豆の町内生産量	123			t	↑		128	
3									
4									
5									
			令和2年度(決算)		令和3年度(決算)		令和4年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B			17,277		16,960		17,465		
財源内訳	直接事業費 A		447		460		965		
	うち一般財源		447		460		965		
人件費(千円) B			16,830		16,500		16,500		
内訳	一般職員(人・千円)		2.55	16,830	2.50	16,500	2.50	16,500	
	臨時職員(人・千円)		0	0		0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	I 拡充(事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 新たな大豆栽培方法で試験し、課題解決に取り組む 面積拡大を実施するため、生産者の増加を目指す 農産物加工センターの有効活用 	③取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> 農産物加工処理センターの利活用及び取組み体制強化 付加価値の高い大豆製品の開発 大豆製品及び特産品の認知度向上と販路拡大
②R3年度に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 新しい生産者を増やし、付加価値の高い大豆や新品種の大豆栽培試験の実施 農産物加工処理センターの再活用検討 町内小中学校にて、食育授業の開催 	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 大豆栽培方法について一定の成果を得たことから、面積拡大を実施するため、生産者の増加を目指す 農産物加工センターの有効活用 大豆商品の販路拡大